

アイルランドの空港建設が防水ソリューションを実装しました。

アイルランドのコーク空港は、GCP TechnologiesのBITUTHENE[®] およびPREPRUFE[®] を使用して、水、湿気およびガスからの保護を行います。



プロジェクト	アイルランドのコーク空港
クライアント	Aer Rianta
主請負業者	Rohcon Ltd
下請業者／工事施工者	Radon Ireland
構造エンジニア	Jacobs International Limited
GCPのソリューション	BITUTHENE [®] 防水材、PREPRUFE [®] 防水材、SERVIPAK [®] 保護ボード、SERVITITE [®] 止水材

プロジェクト

コーク空港に新しいターミナルビルが建設され、乗客の流れが増えました。新しいターミナルの目標は、年間110万人から300万人の乗客を収容するように能力を向上させ、最終的に年間500万人の乗客を支援するように拡大することでした。

ターミナルビルに加えて空港建設には、空港ターミナル経由で600台の車がアクセス可能で、かつ3,250のスペースがある地上駐車場を持つことができる、新しい複数階の駐車場の建設も含まれていました。3つのボーディングブリッジが建設され、新しい消防署も建設されました。プロジェクト工費は1億4,330万ユーロ空港は28,300㎡に拡張され、32の新しいチェックインデスクで構成されました。



アイルランドの空港建設では、基礎領域の地下防水、特に壁や鉄筋コンクリートの柱が必要でした。傾斜地に配置されたエンジニアたちは、モノリシックな基礎ではなかったのでスラブの下に地下排水溝を設計しました。したがって、湿った場所に塗布されるシートも要求されました。

止水材のネットワークも、内部キャスト止水材としての使用に適して静水圧に対する耐性を提供するために要求されました。

アイルランドの空港建設を仕様に準拠して完成させるため、BITUTHENE®8000自己接着型防水シートを地下の壁や柱に施工し、水、湿気、ガスの侵入の影響を防止しました。SERVIPAK®保護ボードを壁に適用して、BITUTHENE®シートを恒久的に保護しました。

PREPRUFE®300R先やり防水材は、構造とシートの間の水の移動を防ぎ、注入されたコンクリートに接着する独特の能力があるのでスラブの下に適用されました。それはすべての地下工事のための高性能な蒸気バリアとラドンガスの保護も提供しました。

最後に、止水材のネットワークが包括的な防水システムを提供しました。SERVITITE®の内部止水材および接合部は、高い静水圧に対する耐性を提供し、コンクリートの膨張接合部を通る水および湿気の侵入を防ぎました。

さらに、GCPは、防水シートと止水材を正しく設置するための広範なオンサイトサポートとトレーニングを提供しました。

gcpat.jp | 日本の顧客サービス : 81 3 5226 0231

GCP Applied Technologies Inc., 2325 Lakeview Parkway, Suite 400, Alpharetta, GA 30009, USA

GCP ケミカルズ株式会社 〒243-0807 神奈川県厚木市金田 100 番地

この文書は、下記の最終更新日現在のものであり、日本でのみ有効です。使用時に最新の製品情報を提供するには、以下のURLで現在入手可能な情報を常に参照することが重要です。Contractor Manuals、Technical Bulletins、Detail Drawings、詳細勧告などの追加資料や関連資料は、gcpat.jpでも入手できます。他のウェブサイトにある情報は、最新のものではなく、あなたの所在地の条件に該当しない可能性があり、その内容に関する一切の責任を負いません。競合が発生した場合、または詳細情報が必要な場合は、GCPカスタマーサービスにお問い合わせください。

Last Updated: 2025-05-15

gcpat.jp/about/project-profiles/airport-construction-ireland-successfully-implementing-waterproofing-solution